

3. 参考資料

3.1 福祉用具専門相談員指定講習における目的、到達目標及び内容の指針⁹

科目	目的	到達目標	内容
1 福祉用具と福祉用具専門相談員の役割			
福祉用具の役割 (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> 福祉用具の定義と、高齢者等の暮らしを支える上で果たす役割を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉用具の定義について、自立支援の考え方を踏まえて概説できる。 福祉用具の種類を概説できる。 高齢者等の暮らしを支える上で福祉用具の果たす役割をイメージできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 福祉用具の定義と種類 <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護保険制度や障害者総合支援制度等における福祉用具の定義と種類 ○ 福祉用具の役割 <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の日常生活動作(ADL)等の改善 ・ 介護負担の軽減 ○ 福祉用具の利用場面 <ul style="list-style-type: none"> ※必要に応じて、視聴覚教材の活用、医療・介護現場の実習・見学等を組み合わせる。
福祉用具専門相談員の役割と職業倫理 (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険制度における福祉用具専門相談員の位置付けと役割を理解する。 福祉用具専門相談員としての職業倫理の重要性を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉用具による支援の手順に沿って、福祉用具専門相談員の役割を列挙できる。 介護保険制度の担い手として職業倫理の重要性を理解し、仕事をする上での留意点を列挙できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 介護保険制度における福祉用具専門相談員の位置付けと役割 ○ 福祉用具専門相談員の仕事内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉用具による支援(利用目標や選定の援助、使用方法の指導、機能等の点検等) ○ 職業倫理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉用具専門相談員の倫理(法令順守、守秘義務、利用者本位、専門性の向上等)
2 介護保険制度等に関する基礎知識			
介護保険制度等の考え方と仕組み (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険制度等の目的と、基本的な仕組みを理解する。 地域包括ケアに係る関連施策について理解し、福祉用具専門相談員はその担い手の一員であることを自覚する。 地域包括ケアを担う各専門職の役割・責務について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険制度等の理念、給付や認定の方法及び介護サービスの種類・内容を列挙できる。 地域包括ケアの理念を概説できる。 地域包括ケアの構成要素と、支える主体を列挙できる。 地域ケア会議の役割・機能を概説できる。 地域包括ケアを担う各専門職の役割・責務を列挙できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 介護保険制度等の目的と仕組み <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護保険法の理念(尊厳の保持、自立支援、利用者選択と自己決定等) ・ 介護保険制度の仕組み(要介護認定、サービス提供、費用負担等) ・ 介護サービスの種類と内容 ・ 高齢者・障害者の保健・福祉に関連した制度(障害者総合支援法等)の概要 ○ 地域包括ケアの考え方 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括ケアの理念(住み慣れた地域での生活の継続、包括的な支援等) ・ 構成要素(医療・介護・予防・住まい・生活支援)と多様な支え方(自助・互助・共助・公助) ・ 地域ケア会議の役割・機能 ・ 医療・介護に関わる各専門職の役割
介護サービスにおける視点 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> 介護サービスを提供するに当たって基本となる視点を身に付ける。 ケアマネジメントの考え方を踏まえ、福祉用具に係るサービスの位置付けや多職種連携の重要性を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の人権と尊厳を保持した関わりを行う際の留意点を列挙できる。 ケアマネジメントや介護予防、多職種連携の目的を概説できる。 居宅サービス計画と福祉用具貸与計画等の関係性を概説できる。 国際生活機能分類(ICF)の考え方を概説できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人権と尊厳の保持 <ul style="list-style-type: none"> ・ プライバシー保護、身体拘束禁止、虐待防止、ノーマライゼーション、エンパワメント、クオリティオブライフ(QOL) ○ ケアマネジメントの考え方 <ul style="list-style-type: none"> ・ ケアマネジメントの意義・目的(人間の尊厳、自立支援及び自己決定・自己実現) ・ ケアマネジメントの手順(アセスメント、ケアプラン作成、サービス担当者会議、説明と同意及びモニタリング) ・ 居宅サービス計画と福祉用具貸与計画等との関係性 ・ 介護予防の目的と視点 ・ 国際生活機能分類(ICF)の考え方 ・ 多職種連携の目的と方法(介護に関わる専門職の種類と専門性及びサービス担当者会議等での連携の具体例)

⁹ 老振発第 0331011 号(最終改正 令和7年4月4日) 厚生労働省老健局振興課長 福祉用具専門相談員について [別紙1]

科目	目的	到達目標	内容
3 高齢者と介護・医療に関する基礎知識			
からだところの理解 (6時間)	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者等の心身の特徴と日常生活上の留意点を理解する。 認知症に関する基本的な知識を踏まえ、認知症高齢者との関わり方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 加齢に伴う心身機能の変化の特徴を列挙できる。 高齢者に多い疾病の種類と症状を列挙できる。 認知症の症状と心理・行動の特徴を理解し、それを踏まえた関わり方を列挙できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 加齢に伴う心身機能の変化の特徴 <ul style="list-style-type: none"> 身体機能の変化の特徴(筋・骨・関節の変化、認知機能の変化、体温維持機能の変化、防衛反応の低下、廃用症候群等) 心理機能の変化の特徴(喪失体験、環境への不適応等) 認知症の理解と対応 <ul style="list-style-type: none"> 認知症の症状 認知症高齢者の心理・行動の特徴と対応
リハビリテーション (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> リハビリテーションの考え方を理解する。 リハビリテーションにおける福祉用具の関係性を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> リハビリテーションの考え方と内容を概説できる。 リハビリテーションにおける福祉用具の関係性と、リハビリテーションに関わる専門職との連携におけるポイントを列挙できる。 	<ul style="list-style-type: none"> リハビリテーションの基礎知識 <ul style="list-style-type: none"> リハビリテーションの考え方と内容 リハビリテーションに関わる専門職の役割 リハビリテーションにおける福祉用具の役割 <ul style="list-style-type: none"> リハビリテーションで用いられる福祉用具の種類と内容 リハビリテーション専門職との連携
高齢者の日常生活の理解 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者等の日常生活の個性や家族との関係など、生活全般を捉える視点を身に付ける。 基本的動作や日常生活動作(ADL)・手段的日常生活動作(IADL)の考え方、日常生活を通じた介護予防の視点を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活には個別性があることを理解し、生活リズム、生活歴、ライフスタイル、家族や地域の役割等を列挙できる。 基本的動作や日常生活動作(ADL)・手段的日常生活動作(IADL)の種類を列挙できる。 自宅や地域での日常生活を通じた介護予防を列挙できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活について <ul style="list-style-type: none"> 生活リズム、生活歴、ライフスタイル、家族や地域の役割等 基本的動作や日常生活動作(ADL)の考え方 <ul style="list-style-type: none"> 基本的動作の種類と内容(寝返り、起き上がり、座位、立ち上がり、立位、着座、歩行、段差越え、階段昇降等) 日常生活動作(ADL)、手段的日常生活動作(IADL)の種類と内容 自宅や地域での日常生活を通じた介護予防
介護技術 (4時間)	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活動作ごとの介護の意味と手順を踏まえ、福祉用具の選定・適合に当たって着目すべき動作のポイントを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活動作(ADL)に関連する介護の意味と手順について列挙できる。 各介護場面における動作のポイントと、それを支える福祉用具の役割を列挙できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活動作(ADL)(※)における基本的な介護技術 <ul style="list-style-type: none"> 介護を要する利用者の状態像 日常生活動作に関連する介護の意味と手順、その際に用いる福祉用具 ※食事、排泄、更衣、整容、入浴、移動・移乗、コミュニケーションなど
住環境と住宅改修 (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の住まいにおける課題や住環境の整備の考え方を理解する。 介護保険制度における住宅改修の目的や仕組みを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の住まいの課題を列挙できる。 住環境の整備のポイントを列挙できる。 介護保険制度における住宅改修の目的や仕組みを概説できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の住まい <ul style="list-style-type: none"> 住宅構造・間取り・設備の種類等の高齢者の住まいにおける課題 住環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> 住環境整備の考え方 基本的な整備のポイント(トイレ、浴室、玄関、居室等の段差解消、床材選択、手すりの取付け等) 介護保険制度における住宅改修 <ul style="list-style-type: none"> 住宅改修の目的、範囲、手続きの手順等
4 個別の福祉用具に関する知識・技術			
福祉用具の特徴 (8時間)	<ul style="list-style-type: none"> 福祉用具の種類、機能及び構造を理解する。 基本的動作や日常生活の生活場面に応じた福祉用具の特徴を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉用具の種類、機能及び構造を概説できる。 基本的動作と日常生活の生活場面に応じた福祉用具の関わりや福祉用具の特徴を列挙できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉用具の種類、機能及び構造 <ul style="list-style-type: none"> ※起居、移乗、移動、床ずれ、排泄、入浴、食事・更衣・整容、コミュニケーション・社会参加関連用具及びその他の福祉用具 基本的動作と日常生活の生活場面に応じた福祉用具の特徴
福祉用具の活用 (8時間)	<ul style="list-style-type: none"> 福祉用具の基本的な選定・適合技術を修得する。 高齢者の状態像に応じた福祉用具の利用方法を修得する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各福祉用具の選定・適合を行うことができる。 高齢者の状態像に応じた福祉用具の利用方法を概説できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各福祉用具の選定・適合技術 <ul style="list-style-type: none"> 福祉用具の選定・適合の視点と実施方法 福祉用具の組み立て・使用方法と利用上の留意点(誤った使用方法や重大事故の例示を含む) 高齢者の状態像に応じた福祉用具の利用方法

科目	目的	到達目標	内容
5 福祉用具に係るサービスの仕組みと利用の支援に関する知識			
福祉用具の供給の仕組み (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> 福祉用具の供給の流れや整備方法を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉用具の供給の流れと各段階の内容を列挙できる。 福祉用具の整備の意義とポイントを列挙できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 福祉用具の供給の流れ <ul style="list-style-type: none"> 福祉用具の製造、輸入、販売及び貸与の流れ 介護保険法における福祉用具貸与事業の内容 ○ 福祉用具の整備方法 <ul style="list-style-type: none"> 消毒、保守点検等
福祉用具貸与計画等の意義と活用 (5時間)	<ul style="list-style-type: none"> 福祉用具による支援の手順と福祉用具貸与計画等の位置付けを理解する。 福祉用具貸与計画等の作成と活用方法を理解する。 利用者の心身の状況や生活における希望、生活環境等を踏まえた利用目標の設定や選定の重要性を理解する。 モニタリングの意義や方法を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉用具による支援の手順と福祉用具貸与計画等の位置付けについて概説できる。 福祉用具貸与計画等の項目の意味と内容を概説できる。 福祉用具貸与計画等の活用のポイントを列挙できる。 利用者の心身の状況や生活における希望、生活環境等を踏まえた利用目標の設定や選定の重要性を概説できる。 モニタリングの意義や方法を概説できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 福祉用具による支援の手順の考え方 <ul style="list-style-type: none"> 居宅サービス計画と福祉用具貸与計画等の関係性 アセスメント、利用目標の設定、選定、福祉用具貸与計画等の作成、適合・使用方法の説明、モニタリング等 状態像に応じた福祉用具の利用事例(福祉用具の組合せや利用上の留意点、見直しの頻度、医療・介護・地域資源との連携方法等) ○ 福祉用具貸与計画等の意義と目的 <ul style="list-style-type: none"> 記録の意義・目的(サービス内容の明確化、情報共有、エビデンス、リスクマネジメント) ○ 福祉用具貸与計画等の記載内容 <ul style="list-style-type: none"> 利用者の基本情報、福祉用具が必要な理由、福祉用具の利用目標、具体的な福祉用具の機種と当該用具を選定した理由その他関係者間で共有すべき情報 ○ 福祉用具貸与計画等の活用方法 <ul style="list-style-type: none"> 利用者・家族や多職種との情報共有とチームアプローチ ○ モニタリングの意義と方法 <ul style="list-style-type: none"> モニタリングの意義・目的 モニタリング時の目標達成度の評価・計画変更
6 福祉用具の利用の支援に関する総合演習			
福祉用具による支援の手順と福祉用具貸与計画等の作成 (5時間)	<ul style="list-style-type: none"> 事例を通じて、福祉用具による支援の手順の具体的なイメージを得るとともに、福祉用具貸与計画等の基本的な作成・活用技術を修得する。 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉用具貸与計画等の作成・活用における一連の手順を列挙できる。 福祉用具貸与計画等の作成における主要なポイントを列挙できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事例演習 <ul style="list-style-type: none"> 事例に基づくアセスメント、利用目標の設定、福祉用具の選定及び福祉用具貸与計画等の作成の演習 利用者・家族やサービス担当者会議等での福祉用具貸与計画等の説明及びモニタリングに関するロールプレイング <p>※事例は、脳卒中による後遺症、廃用症候群、認知症などの高齢者に多い状態像とし、地域包括ケアにおける福祉用具貸与等の役割や多職種との連携に対する理解が深まるものが望ましい。</p>

3.2 福祉用具専門相談員指定講習 確認のポイント

福祉用具専門相談員指定講習のカリキュラム、指導要領に記載されている確認ポイントです。福祉用具専門相談員としての基礎知識の確認等に活用してください。

	科目名	確認ポイント(理解できたら✓)	メモ
制度等について学ぶ	1. 福祉用具と福祉用具専門相談員の役割		
	1.1 福祉用具の役割	<input type="checkbox"/> 超高齢社会において、住環境整備、中でも福祉用具の役割は極めて重要であることを(将来的な視点も含めて)理解できている。 <input type="checkbox"/> 福祉用具は高齢者のみが使うものではないこと(障害者も対象であることを)理解できている。 <input type="checkbox"/> 高齢者や障害者の生活を支える福祉用具には、介護保険制度及び障害者総合支援法の対象となっていないものも多くあることを理解できている。 <input type="checkbox"/> 自立支援(自分でできなかったことを自分でできること)の重要性を理解できている。 <input type="checkbox"/> 福祉用具は道具であり、リスクが隣り合わせであること(リスクを軽減するためには福祉用具専門相談員の役割が重要なこと)を理解できている。	
	1.2 福祉用具専門相談員の役割と職業倫理	<input type="checkbox"/> 福祉用具専門相談員の業務内容を、運営基準の福祉用具貸与・特定福祉用具販売の具体的取り扱い基準を中心に列挙できる。 <input type="checkbox"/> 福祉用具専門相談員としての職業倫理について、法令順守、守秘義務、説明責任、利用者本位など、一つ一つの内容と実際の介護現場で留意すべき点を列挙できる。	
	2. 介護保険制度等に関する基礎知識		
	2.1 介護保険制度等の考え方と仕組み	<input type="checkbox"/> 介護保険制度の理念、認定の流れやサービスの種類・内容を説明できる。 <input type="checkbox"/> 介護保険制度以外の高齢者・障害者関連施策を知っている。 <input type="checkbox"/> 地域包括ケアシステムについて理念・構成要素を説明できる。 <input type="checkbox"/> 地域ケア会議の機能を理解できている。 <input type="checkbox"/> 地域包括ケアを担う各専門職の役割・責務を理解できている。	
	2.2 介護サービスにおける視点	<input type="checkbox"/> 人権や尊厳を保持した関わりの重要性については、どのような点に配慮すべきかについて、「例えば〇〇といった関わり方」のように具体的にイメージし、説明できる。	

	科目名	確認ポイント(理解できたら✓)	メモ
		<input type="checkbox"/> ケアマネジメントの意義・目的、考え方を理解できている。 <input type="checkbox"/> 介護予防・多職種連携の重要性を理解できている。 <input type="checkbox"/> 居宅サービス計画と福祉用具貸与計画等の関係性について説明できる。 <input type="checkbox"/> ICF の考え方を概ね理解できている。	
対象者の特性等について学ぶ	3. 高齢者と介護・医療に関する基礎知識		
	3.1 からだとこころの理解	<input type="checkbox"/> 加齢に伴う心身機能の変化(フレイルなど)を説明できる。 <input type="checkbox"/> 高齢者の特性や特定疾病の影響が、日常生活においてどのように支障を来しているのか理解できている。 <input type="checkbox"/> 認知症の症状を説明できる。 <input type="checkbox"/> 認知症の BPSD についてその原因や対応の例を概説できる。 <input type="checkbox"/> 認知症の人に対する望ましい接し方や関わり方を概説できる。 <input type="checkbox"/> 感染症について感染源や感染経路を概説できる。 <input type="checkbox"/> 感染予防の標準予防策(スタンダードプリコーション)を概説できる。	
	3.2 リハビリテーション	<input type="checkbox"/> リハビリテーションの考え方をイメージでき、包括的且つ総合的な視点で人を捉えていることを理解できている。 <input type="checkbox"/> リハビリテーションに関わる専門職を列挙でき、それぞれの役割を理解できている。 <input type="checkbox"/> リハビリテーションと福祉用具との関連性を理解できている。	
	3.3 高齢者の日常生活の理解	<input type="checkbox"/> 生活の概念、基本構造を理解できている。 <input type="checkbox"/> 日常生活の個別性に関連している要素を理解できている。 <input type="checkbox"/> 基本的動作の種類について説明できる。 <input type="checkbox"/> ADL、手段的 ADL について、その種類と内容を説明できる。 <input type="checkbox"/> 自宅や地域での日常生活を通じた介護予防の視点を理解できている。	
	3.4 介護技術	<input type="checkbox"/> 介護を要する利用者の状態像を理解できている。 <input type="checkbox"/> 日常生活動作ごとの意義や目的を理解できている。 <input type="checkbox"/> 日常生活動作に関連する介護技術を理解できている。	

	科目名	確認ポイント(理解できたら✓)	メモ
		<input type="checkbox"/> 目的に合わせた介護技術の提供に用いる福祉用具の役割を列挙できる。	
	3.5 住環境と住宅改修	<input type="checkbox"/> 日本家屋の特徴や高齢者の住まいについての課題を理解できている。 <input type="checkbox"/> 生活場面ごとの整備のポイントを理解できている。 <input type="checkbox"/> 介護保険制度での住宅改修を理解できている。 <input type="checkbox"/> 住まいの課題を解決することで、自立支援や介護負担軽減につながっていることを理解できている。	
福祉用具専門相談員に必要な具体的な知識技術について学ぶ	4. 個別の福祉用具に関する知識・技術		
	4.1 福祉用具の特徴	<input type="checkbox"/> 福祉用具の機能及び構造における注意事項を説明できる。 《特殊寝台、特殊寝台付属品の例》 <input type="checkbox"/> 特殊寝台の役割が理解できている <input type="checkbox"/> 特殊寝台の導入で気を付けるべき視点(寝かせきりにしてしまうことなど)を理解できる <input type="checkbox"/> モーターの数とベッドの機能の基本的理解と使用の特徴を理解できる <input type="checkbox"/> 特殊寝台付属品の知識の目的、機能と使用の特徴を理解できる	
	4.2 福祉用具の活用	<input type="checkbox"/> 福祉用具の選定・提案の視点を概説説明できる。 《特殊寝台、特殊寝台付属品の例》 <input type="checkbox"/> 特殊寝台と大転子との関係を理解できている。 <input type="checkbox"/> 背上時のポイント(膝上げから背上げ、背抜きなど)について理解できる。 <input type="checkbox"/> 起き上がり動作の手順・留意事項を理解できる。 <input type="checkbox"/> マットレスの硬さの違いと選定にあたっての留意事項を理解できる。 <input type="checkbox"/> 身体拘束の視点(サイドレールやベッドの配置など)を理解できる。 <input type="checkbox"/> 特殊寝台の事故事例(はさみ込みなど)を理解できる。	

3.3 OJT による指導チェックリスト

本チェックリストの可変媒体(Excel形式)は、当協会のホームページから取得可能です。事業所の方針や指導、活用方法にあわせて、適宜、修正して活用してください。

掲載先 URL:https://www.zfssk.com/sp/1302_chosa/2026_index.html



記入例

- ・本チェックリストは、各事業所のご状況、ご方針に合わせて適宜項目を修正・追加・削除の上、お使いください。
- ・本チェックリストは入社後半年～1年程度の新人職員の業務習熟度・進捗を確認するためにご利用ください(必ずしも期間内にすべての項目が一人でできるようになることを想定しているものではありません)。
- ・新人職員による自己チェックと指導者チェックは必ずしも一致しない場合もございます。この場合には、特に追加の指導やフォロー実施の目安にしてください。

【本チェックリストを活用した評価の方法】

各事業所の状況に応じた適切な評価方法を検討の上、お使いください。

この場合、評価基準については、指導者間のばらつきを予防、新人職員の目標設定のために、新人を含めた職員間での共有が重要です。

✓チェック欄の活用例

例1: 業務を経験した場合や指導者から教えてもらった項目に「✓」を記入していく

例2: 新人職員自身の自己チェックとして、「十分理解し、一人で説明が行えるレベル:A」/「一人で説明はできないが、理解はしているレベル:B」/「理解が不足しているレベル:C」などの記号を記入していく。その上で、指導者としても確認していく(Cの項目はフォローするなど)

福祉用具専門相談員 新人職員(入社後～1年程度)向けチェックリスト

No	大項目	小項目	3か月後振り返り		確認予定時期:○月末		6か月後振り返り		確認予定時期:○月末		9か月後振り返り		確認予定時期:○月末		1年後振り返り		確認予定時期:○月末		
			自己 チェック	指導者 チェック	メモ(次回確認予定に向けた課題・目標等)	自己 チェック	指導者 チェック	メモ(次回確認予定に向けた課題・目標等)	自己 チェック	指導者 チェック	メモ(次回確認予定に向けた課題・目標等)	自己 チェック	指導者 チェック	メモ(引き続き学んでほしい事項等)	自己 チェック	指導者 チェック	メモ(引き続き学んでほしい事項等)		
1	ビジネスマナー	TPOを理解した身だしなみ	レ		例)雨天時や搬入作業がある日など、状況に応じた準備(替えの靴下など)があると尚よい														
2		社内外に関わらない、適切な挨拶・言葉遣	①	②	③														
3		社内規則																	
4		報告・連絡・相談の重要性																	
5	自己管理	予定の管理、準備、段取りの方法																	
6		仕事の適切な優先順位の設定																	
7		自身の健康管理																	
8	個人情報管理	適切な個人情報の取り扱い			例)利用者情報を「業務上必要な範囲で扱う」という意識は持っているが、社内や事務所の机の書類保管ルールにもう少し注意があるとい														
9	事業所内業務	適切な電話応対																	
10		適切なメール対応																	
11		社内システムの理解と活用																	
12		経費精算、契約の締結等、一連の事務処理の流れ																	
13		安全運転、車内清掃等、適切な車両管理																	
14		事故発生時の対応																	
15	介護保険制度に基づいた書類作成や請求業務																		

① 自己チェック欄は新人職員の自己評価欄です。自分の目標到達状況に応じたチェックを行いましょう。

② 指導者チェック欄は事業所で定めた評価基準に応じた達成状況のチェックを行います。留意点については③のメモに記載しましょう。

③ 新人職員が特にできていること、部分的に残っている課題や、次回振り返りまでの目標等をコメントする欄としてお使いください。

④ 入社後から概ね3か月ごとを目安に、本人・指導者双方で、これまでにできたこと、できなかったことなどを振り返ってください。1年後は、これまでの習熟状況の全体を振り返り、引き続き学んでほしい事項等、新人職員にフィードバックしてください。

記入例

- ・本チェックリストは、各事業所のご状況、ご方針に合わせて適宜項目を「プルダウンシート」の編集により、修正・追加・削除の上、お使いください。
- ・本チェックリストは入職後半年～1年程度の新人職員の業務習熟度・進捗を確認するためにご利用ください(必ずしも期間内にすべての商品を経験し、すべてのプロセスを一人でできるようになることを想定していません)。
- ・新人職員による自己チェックと指導者チェックは必ずしも一致しない場合もございます。この場合には、特に追加の指導やフォロー実施の目安にしてください。

【本チェックリストを活用した評価の方法】

自己チェック、指導者チェック欄は達成している項目について「✓」を記入する方法、新人職員の理解状況に応じて複数段階の評価を行う方法などが考えられます。各事業所の状況に応じた適切な評価方法を検討した上でお使いください。

この場合、評価基準については、指導者間のばらつきの予防、新人職員の目標設定のために、新人を含めた職員間での共有が重要です。

✓チェック欄の活用例

例1:業務を経験した場合や指導者から教えてもらった項目に「✓」を記入していく

例2:新人職員自身の自己チェックとして、「十分理解し、一人で説明が行えるレベル:A」/「一人で説明はできないが、理解はしているレベル:B」/「理解が不足しているレベル:C」などの記号を記入していく。その上で、指導者としても確認していく(Cの項目はフォローするなど)

福祉用具専門相談員 新人職員(入職後～1年程度)向けチェックリスト【商品理解】

No	商品 (黄色:プルダウンから選択、商品名は具体的に記入)		① 自己チェック				② 指導者チェック				③ メモ(残っている課題、達成状況の評価等)	
	サービス 種別	種目	商品名	選定	設置/調整	説明	モニタリング	選定	設置/調整	説明	モニタリング	
1	福祉用具貸与	車いす付属品										④ 「マスタ」シートを編集することで、事業所で取り扱っているサービス種別ごとの種目を修正・追加・削除することができます。
2	貸与・販売 選択制	歩行器										
3	貸与・販売 選択制	スロープ(工事不要)										
4	その他 販売 全般	介護用品、 便利グッズ 等										

①
自己チェック欄は新人職員の自己評価欄です。各商品の選定～設置/調整～説明～モニタリングのプロセスについて、指導者と合意した評価方法で記入をしてください。

②
指導者チェック欄は事業所で定めた評価基準に応じた達成状況のチェックを行います。留意点については③のメモに記載しましょう

③
新人職員が特にできていること、部分的に残っている課題等をコメントする欄としてお使いください

